

取扱説明書

X2M

MULTI GAUGE ø60

EURO SPEC

この度はPIVOT X2M MINI専用用品をお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。 ●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。 	<p>注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。 ●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ●ネジ・部品は元の状態に戻す ●眩しく感じる場所へ装着しない ●加工・分解および改造をしない
---	--

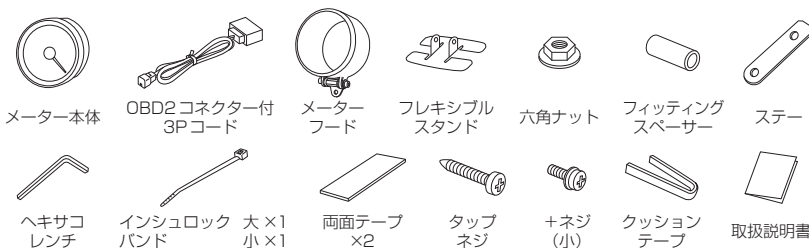
1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ http://pivotjip.com/information/obd_conjunction.html

対応車

本製品は下記以外のMINIには装着できません。

車名	年式	車種型式	対応
ONE	H13.10~H19.1	GH-RA16	可能
COOPER		GH-RA16	
COOPER S		GH-RE16	
COOPER CB		GH-RF16	
COOPER S CB		GH-RH16	
COOPER	H19.2~	ABA-MF16	不可
COOPER S		ABA-MF16S	

内容物をご確認ください



X2Mの特長

同色オレンジ照明	純正同色のオレンジ照明。
スムーズアクション	新制御でクイックでスムーズな針動作。
2 in 1表示	一台で2種類を切替表示。 1. ブースト (NA車はバキューム) 2. 水温
ピークホールド	リセット後のピーク値を記憶し表示。
新デザイン	ブースト/バキュームが見やすいデザイン。
簡単装着	故障診断コネクタに差し込むだけで配線・配管作業は一切不要。
気圧補正機能	標高差補正で絶対圧表示から相対圧表示に近似補正が可能。
ステッピングドライブ	高精度で信頼性の高いステッピングモーター採用。
低価格	本体価格¥24,800で2種類表示のため、1種類当たり¥12,400のコストパフォーマンス。

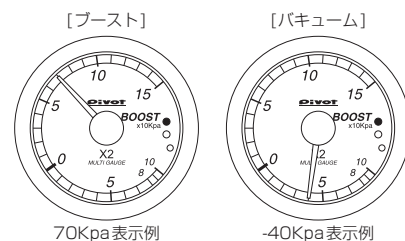
各表示と用途

1. ブースト (絶対圧表示)

▶表示 -100~150Kpa (NA車は負圧のみの表示)

▶用途 ●ブーストチェック (ターボ車)
●エコ走行用 [バキューム] (ターボ・NA車)

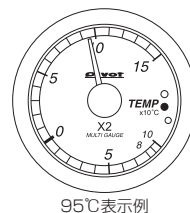
⚠ ブーストリミッターカットをしている場合は正常に表示できない場合があります。



2. 水温

▶表示 -40℃~150℃

▶用途 ●オーバーヒート
●暖機チェック など



3. ピークホールド

▶用途 ●瞬間的な最大ブーストチェック (ターボ車)
●最高水温チェック

表示開始までの時間について

ECUとの通信上、エンジン始動後から表示開始まで約5秒かかります。

キーOFF後はエンジン停止と同時に表示消灯します。

オープニングデモ

オープニングデモの針の動きはマイナス方向に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、現在の表示項目に移行します。

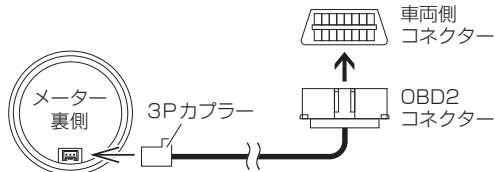
イルミ (文字板照明)

動作中は常時点灯状態ですがLEDのためクルマへの負担や寿命には影響ありません。

配線接続方法

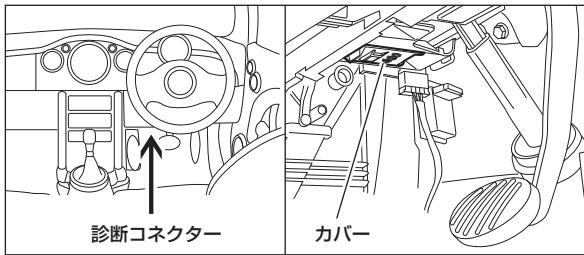
エンジン始動中にOBD2コネクタを車輛側の診断コネクタに差し込みます。

※エンジン停止中に接続すると正常動作しない場合があります。

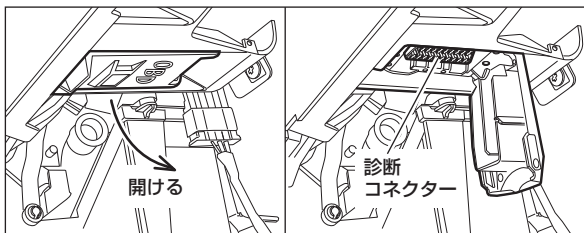


※差し込む際はコネクタの向きをご確認ください。

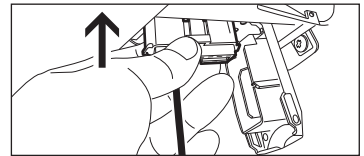
1 診断コネクタ位置を確認する



2 カバーを開ける

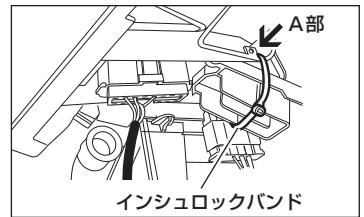


3 カブラーを根元まで差し込む



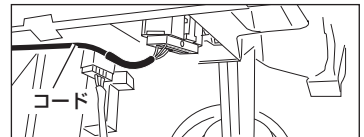
4 カバーを固定する

A部の凸後部にひっかけて、カバーを付属のインシュロックバンドに巻き付け固定します。



5 コードを固定する

運転などに支障がない場所にコードを引き回し固定します。



【参考1】OBD2コネクタの取扱注意

△ 注意
抜き取り時にコードを持って引き抜くと断線の恐れがありますので絶対に行わないでください。

差し込み時/抜き取り時はこの凸部を持って行う。

凸部が握れない場合
車種により、コネクタが奥まで入り凸部が握れない場合があります。

インシュロックの輪の部分を持って引き抜く。

！ こんどきは 3-driveやPROGAUGEまたはREV LAMPと併用する場合

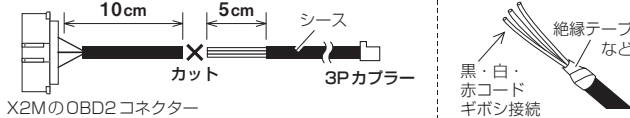
その他の製品(他社品を含む)や複数のPIVOT製品と併用する場合は別売のOBD2配線キット(OBD-EH ¥3,360)を使用すると簡単に取付可能です。詳しくはhttp://pivotjp.com/information/obd_conjunction.htmlをご確認ください。

1 PIVOT PROGAUGE・REV LAMPシリーズと併用する場合

X2MのOBD2コネクタをカットし、併用する製品のOBD2コネクタから出ているコードにギボシ接続します。

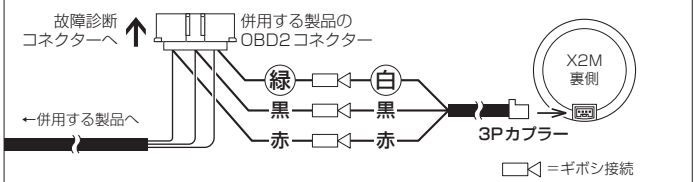
- ① 車輛側の故障診断コネクタからOBD2コネクタを抜く。
- ② OBD2コネクタから出ているコードを10cmほどの位置で切断する。
- ③ 切断した位置から5cmほどシースをむく。
- ④ 黒・白・赤コード以外を切断し、絶縁テープなどで確実に絶縁する。
- ⑤ 黒・白・赤コードにギボシを付け、確実に接続する。

【参考2】オスギボシの使い方参照

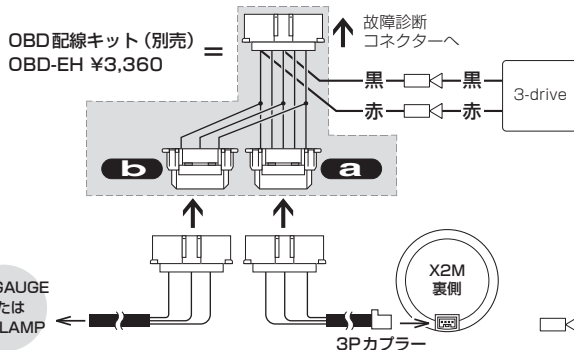


△ 差し込みはエンジン始動中に行う

この場合のコネクタ差し込みは誤作動防止のため、**エンジン始動中**に行ってください。また、バッテリー端子を外した場合も一度コネクタを抜き、差し込み直してください。



2 別売のOBD2配線キットを使用する場合



【参考2】オスギボシの使い方

- 1 コードの先端を10mm位むく。
 - 2 かしめるコードの芯線を折りたたむように太くする。
 - 3 カバーを通しておく。
 - 4 圧着部にコードをセットする。
 - 5 内側の圧着部と芯線を確実にかしめる。
 - 6 外側の圧着部を被ふくの上からかしめる。
- ※オス・メスギボシは接続後オスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりネジ込んでください。

製品の固定



シングルメーター車

純正のタコメーター右側に専用メーターフードでの固定をおすすめしますが、お好みの場所や他社のメーターフード等にも通常のメーターと同様に装着いただけます。
(装着方法A~C参照)

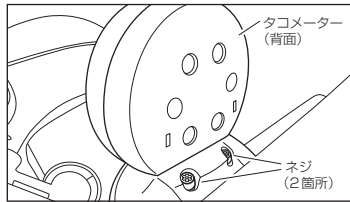
装着方法 A タコメーターの右側に装着する (シングルメーター車の場合)

付属のメーターフードを純正タコメーター背面に固定します。

【メーターフード】

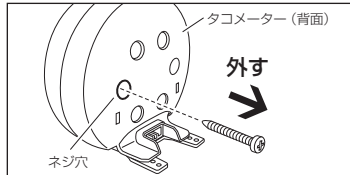
1 純正タコメーターを外す

純正タコメーター背面の台座の部分にある2箇所のネジを外し、メーターを取り外します。
※外したネジはなくさないようにしてください。



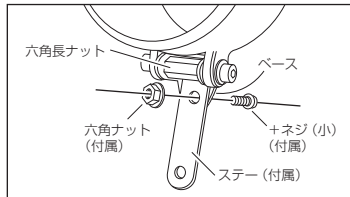
2 純正タコメーター背面のネジを外す

純正タコメーター背面の左のネジ穴にあるネジを外します。
※外したネジは大切に保管してください。



3 メーターフードにステーを取り付ける

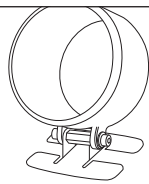
① メーターフードの六角長ナットとベースの間に付属のステーを差し込みます。
② 付属の+ネジ (小) と六角ナット (付属) で固定します。



装着方法 B

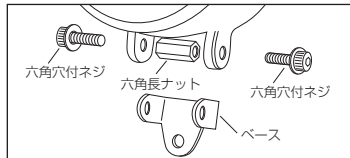
ダッシュボードなどに装着する

付属のフレキシブルスタンドを使用して強度のある場所へ両面テープで固定します。
(ダッシュボードなど)



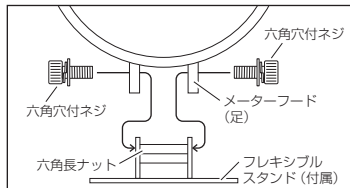
1 メーターフードのベースを外す

メーターフードのベースを外します。
※外した部品はなくさないようにしてください。



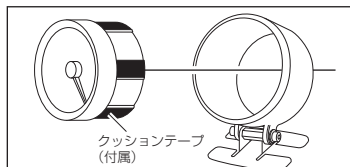
2 フレキシブルスタンドを取り付ける

① 六角長ナットをフレキシブルスタンドの立ち上げ部の間へ入れます。
② 六角穴付ネジを締め込んで固定します。



3 メーターを固定する

メーターのケース部に付属のクッションテープを貼り、メーターフードに差し込み固定します。

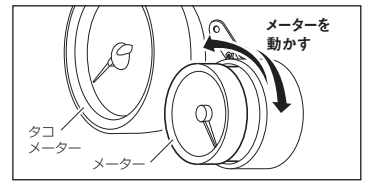


デュアルメーター車

タコメーター右側へはスペース上装着頂けませんので、メーターフードのベースをフレキシブルスタンドと入れ替えてダッシュボード等お好みの場所に通常メーターと同様に装着してください。(装着方法B・C参照)

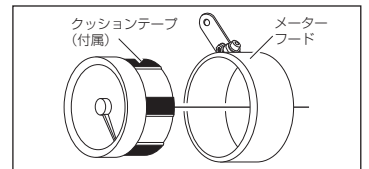
4 メーターの差し込む角度を決める

メーターフードにメーターを差し込み、②でネジを外したタコメーター背面のネジ穴とステーの穴部分を合わせ、メーターの差し込む角度を決めます。



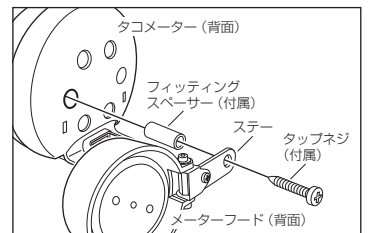
5 メーターフードにメーターを固定する

メーターのケース部に付属のクッションテープを貼り、④で決めた角度でメーターフードに差し込み固定します。



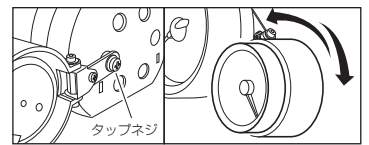
6 メーターフードをネジで固定する

① ②でネジを外した純正タコメーターのネジ穴に付属のフィッティングスペーサーを差し込みます。
② ネジ穴とステーの穴部分を合わせ、付属のタップネジを使用してステーを固定します。



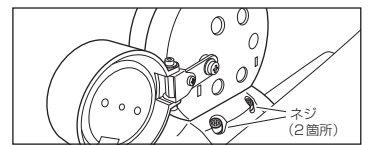
7 メーターの角度を調整する

⑥で固定したタップネジをゆるめ、角度を決めます。ネジを確実に締め込んで固定します。



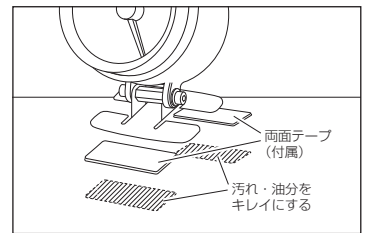
8 タコメーターを元の位置に戻す

①と逆の手順で純正メーターを元の位置に戻し、ネジで確実に固定します。



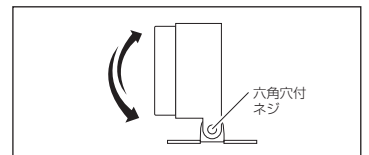
4 スタンドを取り付ける

① 取付場所にピッタリ付くようにスタンドを曲げます。
② 取付場所の油分や汚れ等を確実にキレイにします。
③ 両面テープにて貼り付けます。
※貼り直しは粘着力が低下するため行わないでください。



5 メーターの角度を調整する

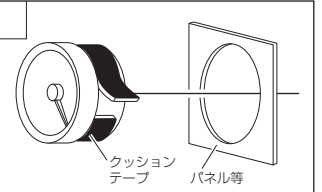
六角穴付ネジをゆるめ、角度を決めます。ネジを確実に締め込んで固定します。



装着方法 C

パネルなどに埋め込む

メーターの根本にクッションテープを巻き、直径60mmの穴に圧入状態で差し込みます。

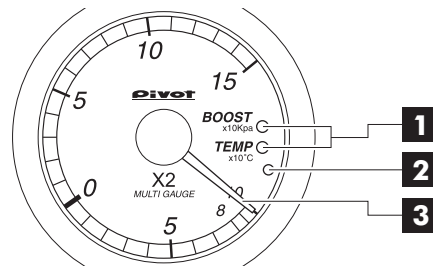


各部の名称

1 モードランプ
使用しているモードを表示。

2 スイッチ
モード切り換えや各設定用。

3 針
現在の数値や設定を指します。



基本操作方法

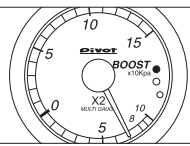
▶ 各表示切換

1 ▶ キースイッチ ON
(エンジン始動)



ブースト (リアル)

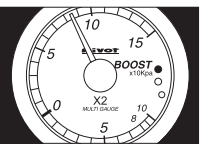
BOOST ランプ点灯
例) -70Kpa
※NA車は負圧のみの表示



3秒間操作なし

ブースト (ピーク値)

BOOST ランプ点滅
例) 85Kpa
※リセット後のピーク値を表示



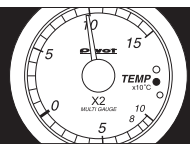
2 オープニングデモ

3 ▶ スイッチ押すごとに
表示切り換わり



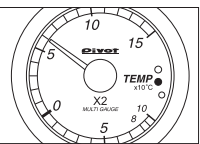
水温 (ピーク値)

TEMP ランプ点滅
例) 98℃
※リセット後のピーク値を表示



水温 (リアル)

TEMP ランプ点灯
例) 60℃



3秒間操作なし

▶ ピーク値のリセット方法

ブースト
ピーク値表示中

水温
ピーク値表示中

▶ スイッチ
3秒長押し



3秒
押す

ブースト
ピーク値リセット

水温
ピーク値リセット

ブースト
リアル表示に戻る

水温
リアル表示に戻る

※各ピーク値はキー OFF でも記憶されています。
※バッテリーやコネクタを外すと各ピーク値はリセットされます。

▶ 気圧補正機能 (通常は必要ありません)

ブースト圧表示は車輛の絶対圧センサーによる表示で、標高差を含む方式ですが、機械式 (相対圧) 表示と同じにする場合のみ下記補正を行ってください。

使用する場所の標高差を設定してください。 ※標高は四捨五入した百の単位を入力してください。

【補正例】

・標高630mの場合
=目盛6



・標高680mの場合
=目盛7



・標高1120mの場合
=目盛11



ご使用地域の標高値は地図やインターネットでお調べください。参考: <http://lab.uribou.net/ll2h/>

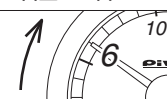
補正方法 (標高0m~1500mまで100m単位で設定可能)

ブースト
(リアル) 表示中
▶ スイッチ
2秒長押し



気圧補正モードへ
※モードランプが交互に点滅
BOOST x10Kpa ↔ BOOST x10Kpa
TEMP x10℃ ↔ TEMP x10℃
※2秒間操作をしないとブースト
(リアル) 表示に戻ります。

▶ スイッチを押し、
針を標高に応じた
目盛りに合わせる



自動的に補正
2秒間操作なしで

ブースト
(リアル)
表示に戻る

故障と思われるまえに

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	3Pカプラー、OBD2コネクタの接続不良。	3Pカプラー、OBD2コネクタの接続状態を確認する。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
誤表示する。	エンジン停止中にOBD2コネクタを差し込んだ。	OBD2コネクタを抜き、エンジン動作中にコネクタを差し込む。
	バッテリーを交換、またはマイナス端子を外した。	
表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ブースト圧表示が純正や他のメーターとズれる。	本製品のブースト計は絶対圧式で、相対圧式のメーターとは表示がズれる場合があります。(⇒基本操作方法「気圧補正機能」参照)	